

真宗佛光寺派
大阪教区・
別院だより

大悲

第17号

平成27年(2015年)
4月1日 発行



春一番「大阪場所」

あるタレントさんが少年院を慰問するとい
う番組をみました。

苦しみや困るに「難」という漢字を付ける
と、苦難・困難となります。これらが無いこ
とを無難といいます。しかし「難」が無い人
はいません。「難」に有るを付けると、「有難し」
となります。苦難・困難が起きたことを昔の
人は「有難し」と受けとめてこられたという
話をされていました。

苦難・困難を避けたいのは誰しも同じこと
ですが、避けて通れないのもまた事実です。

番組で、少年たちが話に耳をかたむけ、メ
モをとるその姿は、自身の苦難・困難に向き
合っているように感じました。なぜなら人生
において、苦難・困難の一つひとつにもそれ
ぞれ意味があるからです。

少年たちの姿を見て、私自身が日々の生活
の中で、苦難・困難と向き合い、それらを意
味あるものとして「有難し」と受けとること
ができていたのかを考えさせられました。

(寿栄松正顕)

と う ひ が ん 到 彼 岸



～大阪別院
彼岸会法話より～

光宝寺 ゆきとも しんじ 行友伸二

今、自分に自信を持ってない子どもや大人が増えています。少子化や親の過保護の影響でしょうか。小さな時から大事にされ、怒られること無く誉められ続け、失敗を経験せずに育った人が多いようです。失敗を恐れるあまり少しでもうまくいかないとパニックになり、失敗しそうなことにははじめから手をつけないなど、失敗や挫折を乗り越えた強さが無いのです。

無条件に誉められるだけでは人は成長できません。人が成長するには「厳しさに出会う」、「優しさに出会う」、この二つの契機が必要です。我が子に失敗をさせないように守るのではなく、失敗も経験させる。しかし、そのあとは「どんなことがあってもあなたの味方」と伝える。そういう厳しさと優しさ、この二つのバランスがとれたところで人は成長していくのではないのでしょうか。

阿弥陀仏の本願

さて、阿弥陀仏が誓われた「本願」には「一切の生きとし生けるものを必ず救う」とこと、「罪の重きことを知らしめる」という二つのお示しがあります。「罪の重き」とは、いつも自分本位に生きてしまう私たちの正体を示しています。阿弥陀仏に照らされ、罪を宿して生きている私たちの正体はつき

りする。

そしてその正体のままに人生を歩んでいける勇氣と力を与えてくださるのが阿弥陀仏の救いです。自分本位な私に転じられ、人々の痛みに共感し、人々の幸せを願う心の尊さを知るものに育ててくださるのです。

念仏のはたらき

親鸞聖人は念仏のはたらきについて「げんぶ厳父の訓導するがごとし」、「ひんも悲母の長生するがごとし」とお示しくださっています。念仏の教えは、私たちのありのままの姿を厳しく問います。しかし同時に深く暖かい慈愛でわたしを包み、育ててくださるのです。

(平成26年9月23日勤修の

大阪別院彼岸会法話より)



如^{によ}是^ぜ我^が聞^{もん}

私を生きる

大阪教区・最勝寺

中井賢隆なかい けんりゅう師



ありません。それどころか、私自身の性根は教えを聞かせていただいても、まったく変わらないのです。

何ごとも思いどおりにしたいと条件をつける私が、実は広大な無条件の願いの世界に生かされていた。そこに、身の事実に気づく眼がひらかれる「出遇い」があります。

濁りきった煩惱まる抱えのままの身に、仏さまの真なるはたらきがあり、すでに功德の宝海に包まれた生活であったと気づかされます。

与えられた自身を尽くし「空しく過ぎる」ことのない人生を生きるということは、「本願」との「出遇い」に凡夫の身の事実を知らされ、その身を尽くして往くことなのだと思わせていただきました。

平成26年9月28日、大阪別院で佛青懇和会主催の「聞法の集い」がありました。高僧和讃「本願力にあいぬれば、むなしくすぎるひとぞなき、功德の宝海みちみちて、煩惱の濁水へだてなし」をご讃題として、中井賢隆師よりご法話をいただきました。

出あい

私たちは、出あいと別れのくり返しの中に日々を生きています。

ひとことに「出あい」とい

っても「出会い」「出逢い」「出遇い」と文字に異なりがあるように、それぞれに「出あい」の中身がちがいます。

人と人が顔をあわせる「会」。その人とあえると思っただけで、胸ときめく「逢」。そして、よき人との出あいによって私自身の生き方が一変する「遇」。

親鸞聖人は「遇」を「たまたま」「思いも寄らず」と受けとめられています。

変わらぬ身のまま

比叡山を下りた親鸞聖人は、

吉水の法然上人を訪ねられました。

そこで説かれていたのは、どのような人でも分け隔てなく無条件で救われる本願念仏の教えです。

それは単に法然上人と「出会った」、顔をあわせたということではなく、今日までの聖人自身の生き方がダイナミックに一変する衝撃的な「出遇い」でした。

一変するといっても、根性が善くなったとか、愚痴を言わなくなったというものでは

(葦名 彰 記)

大阪探検

ゆうずうねんぶつ

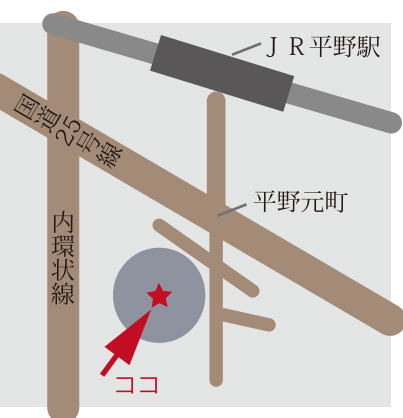
融通念佛宗 総本山 大念佛寺



万部おねりの様子



五月には開宗九百年の大法要が勤修
(大法要中、万部おねりは午後1時～3時半)



大阪市平野区平野上町 1-7-26

電話 06-6791-0026

JR大和路線「平野」駅より徒歩約5分

拝観料：無料

拝観時間：9時半～16時半（17時閉門）

万部おねり

大念佛寺は融通念佛宗の総本山であり、今年
は良忍上人が開宗して九百年目の記念の年にあ
ります。また宗門の興隆に尽力された大通上
人の三百回御遠忌を併せた大法要が五月一日よ
り七日まで勤修されます。

開宗九百年

日本の伝統仏教の十三宗の中で六番目に開か
れたのが融通念佛宗です。それまでの宗旨が中
国伝来の仏教であったのに対し、日本で生まれ
た最初の宗旨だそうです。

「万部おねり」は大
念佛寺最大の行事であ

り、正式名称は「阿弥陀経万部読誦・二十五菩
薩聖聚来迎会」といいます。平安時代に広がっ
た浄土信仰の影響で、各地で阿弥陀如来の来迎
図が盛んに描かれます。この来迎思想がより現
实的に発展して経典の中の「臨終に際し、私は
極楽浄土から二十五菩薩を従えて、その人を迎
えに来る」という仏の願いを具体的に表現した
練り供養です。融通念佛宗の僧侶方が、菩薩の
面や衣装をまとい菩薩役に扮します。
近世に入り、阿弥陀経を一万部読誦して檀信
徒と有縁無縁の諸霊の追善を願って万部会が始
まり、現在にいたっています。
期間中はいつも、檀信徒の団体参拝のバスが
続き、境内には露店が立ち並び参詣者であふれ
ています。
(長田 護)

全国の

ごえんさんを訪ねて

しんこうじ 真光寺（長崎）
ありま けんしょう 有馬賢照 住職



平成 18 年に建立された本堂

寛政 4（1792）年、雲仙普賢岳噴火後の地震と山崩れにより埋もれた墓所が移転され、その横に建てられたお堂が真光寺のはじまりです。

昭和 8 年には本堂が建立され、真宗佛光寺派の寺院として祖父・静英師が初代住職をされました。

そして父・西念師が平成元年に二代目住職を引き継がれましたが、平成 3 年、雲仙普賢岳の大規模な噴火や火砕流の影響で本堂がかな



境内にあるイチヨウの木

り傷んだそうです。そこで平成 18 年、ご門徒の皆さんのご尽力により現在の本堂が建立されました。

また当時、全国の佛光寺派のご門徒さんから多大な義援金をいただいたことを、ご住職は今でも感謝されています。

つながりを大切に

真光寺では、地域との関わり方のひとつとして、小学生が気軽にお寺に来てもらえるよう、30 年以上前からそろばん教室の場として本堂等を開放しています。また夜間、近隣にある公民館や体育館の

鍵を預かるなど、地域の方々とのつながりや、ふれあいを大切にされています。

住職として

本山では布教使として、また御堂式務衆としてご活躍のご住職。今年 5 月には継職法要を勤められるそうです。

「ご門徒さんに限らず、地域の方々が気軽に立ち寄れるお寺にしていきたい。その中心は、お念仏をよろこび合うことですが、自ら率先して関係性を結ばせてもらえるように努めていきたい」と今後の抱負を語っていただきました。

（隅谷俊紀）

■真光寺（しんこうじ）

〒855-0878

長崎県島原市大下町丙1313

電話 0957-62-5874

Fax 0957-62-5874

大悲トピックス

■法友会研修会開催

法友会は2月3日、「佛光寺派内陣出仕作法」というテーマのもと研修会を開催しました。

寿栄松正信師（西光寺）による作法についての講義に続いて、別院本堂では実際の内陣出仕の実演がなされました。

当日は12名が寿栄松師の話に熱心に耳を傾け、また冷え込んだ本堂にて動きを確認していました。



㊦ 研修ホールでの講義の様子
の指導をされる寿栄松師



㊦ 別院本堂内陣で作法

■さつき会研修会開催

さつき会は1月19日、文楽鑑賞の研修会を国立文楽劇場にて開催しました。



春にふさわしい華やかな演目（花競四季寿、彦山権現誓助剣、義経千本桜）を鑑賞し、参加者16名は伝統の技芸の奥深さと繊細さを味わっていました。

■『大悲』定期購読ならびに広告の募集

大阪教区・別院日より『大悲』は、皆様からのご協賛によって発行させていただいています。ご協賛の方法は「定期購読」と「広告」です。

『大悲』を「定期購読」していただき、ご門徒の皆様方にもお渡しただけませんか。『大悲』の定期購読は、1部につき30円です（送料込）。10部単位でお願いいたします。

また、企業・団体・寺院の「広告」も募集いたします（広告例は下記参照）。1区画（55mm×40mm）、掲載1回につき5千円です。

何卒ご協力くださいますようお願い申し上げます。

燦ホールディングス グループ
なごみ庵
き・た・は・ま
KITAHAAMA

法要料理
希望の場所までお届けします

- 四條畷店 ☎0743-78-7521
- 瓜破店 ☎06-6769-0140
- 伊丹店 ☎072-773-7531

※2012年5月現在 ㊦-0132

御本山 **近** 用達
株式会社 **川勝法衣店**

フリーダイヤル **0120-075-055**
(〒600-8344) 京都市下京区花屋町通小路東入

電話 (075) 371-0367(代)
FAX (075) 371-5088

御本山佛光寺御用達
井筒法衣店

〒600-8503
京都市下京区堀川通新花屋町角（西本願寺前）

フリーダイヤルTEL **0120-075-720** 番
フリーダイヤルFAX **0120-075-490** 番

株式会社 モントラベル

〒550-0013
大阪市西区新町1-8-1 行成ビル
TEL. 06-6531-1344
FAX. 06-6531-1346
<http://www.monto.co.jp>
仏跡参拝ならお任せください!

(株) 小林造園

代表取締役：小林正典
〒603-8442
京都市北区西野山東町 36-1
tel 075-491-4256
fax 075-491-9432

燦ホールディングス グループ
まごころ葬儀を創造する。

公益社

公益社 葬儀相談センター (24時間・365日受付、通話料無料・携帯電話OK。)
0120-567-701
※2012年5月現在 ㊦-0131

だいひ 絵日記

- 1月 2日 (金) 大阪別院修正会
 1月 9日 (金) 大阪教区新年互礼会
 1月 19日 (月) さつき会研修会 (文楽鑑賞) (国立文楽劇場にて)
 1月 22日 (木) 大悲の会編集会議 (総会・第 17 号読み合わせ) ①
 1月 24日 (土) 佛青懇和会研修会 (雅楽研修会)
 2月 3日 (火) 法友会研修会 (佛光寺派内陣出仕作法・講師：寿栄松正信 師)
 2月 12日 (木) 大悲の会編集会議 (第 17 号読み合わせ) (浄方寺にて)
 2月 19日 (木) さつき会研修会 (信心の人は弥勒菩薩に同じ・講師：福嶋崇雄 師) ②
 2月 28日 (土) 佛青懇和会研修会 (雅楽研修会)
 3月 12日 (木) 大悲の会編集会議 (第 17 号読み合わせ) (西光寺にて)
 3月 18日 (水) 大阪別院彼岸会 (布教：勝部正典 師)
 3月 21日 (土) 大阪別院彼岸会 (布教：佐々木太一 師)
 3月 24日 (火) 大阪別院彼岸会 (布教：脇阪義仁 師)
 3月 24日 (火) 佛青懇和会総会
 3月 28日 (土) 佛青懇和会研修会 (雅楽研修会)
 3月 31日 (火) 大悲の会編集会議 (第 17 号発送作業・第 18 号内容検討)



表具 八木米寿堂

御本尊掛軸修理 絵画、書の表装

〒600-8073

京都市下京区柳馬場通仏光寺上る

tel 075-351-2853 fax 075-352-3258

- 大正三年創業の信頼と実績 -

石留石材株式会社

各種石塔・石仏・記念碑
 寺社建築石材まで

○ご相談は下記フリーダイヤルへ 携帯・PHS OK

0120-53-5578

[本社・工場・展示場] 藤井寺市津堂 2 丁目 9 番 29 号

京
懐
石

和
光
菴

慶事、仏事、各種会合等の際は、
和光菴の仕出し料理を
御利用下さい。

株式会社 和光菴

〒543-0073 大阪市天王寺区生玉寺町3-32
 TEL06-6774-8090 www.wakouan.co.jp

西天満店 結心 (ゆいごころ)

〒530-0047 大阪市北区西天満4-10-5 1 階
 TEL06-6809-6311 www.yuigokoro.com

協 賛

法 友 会
 さ つ き 会
 佛 青 懇 和 会

ご寺院、お役に立てる商品が、
 きっと見つかる情報誌!

寺がある、法が活きる、寺の友社。



株式
会社

寺の友社

〒611-0002 京都府宇治市木幡平尾54番地の2
 TEL 0120-7676-39 FAX 0120-7676-29
 http://www.teratomo.jp

ご希望の、ご寺院には、無料カタログをお送りします。

正しい値段 正しい奉仕



南海高野線堺東銀座街

〒590-0077 堺市堺区中瓦町1-3-9

電話 072-232-0067・1565

FAX 072-232-6339



大阪教区・別院 行事予定



大阪教区

6月12日（金）午後5時 総会

法友会（住職会）

6月12日（金）午後5時 総会

さつき会（坊守会）

総会（日程場所未定）

大悲の会（『大悲』編集会議）

4月21日（火）午後6時 編集会議

5月12日（火）午後6時 編集会議

6月23日（火）午後6時 編集会議

※場所明記のない行事は大阪別院で開催



昨年の大相撲春場所

編集秘話

巻頭の写真には大阪らしさへのこだわりがあります。今回の大阪府立体育館は私にとっても思い出の地です。余命3年の癌告知をうけた父親に、せめて大好きだった大相撲を生で見せたいと、「若・貴」全盛期に大枚を払って枚敷のチケット4枚をゲット。家族そろって観戦。一度だけの親孝行でした。（長田）

編集後記

「編集後記」の身を削って(?)、新コーナー「編集秘話」スタート。毎回、担当者が編集過程での思い入れやこぼれ話を披露します。ご期待ください。★何事においても続けていくにはモチベーションの維持が大切です。『大悲』も4年目に突入。今一度「ふんどし」をしめ直して、編集会議にのぞんでいきたいと思います。（隅谷）

大阪教区・別院だより『大悲』 第17号

平成27年(2015年)4月1日発行（発行部数2100部）

発行：大悲の会

事務所：佛光寺大阪別院内

〒558-0011 大阪市住吉区菟田 6-11-24 電話 06-6691-1362

郵便振替口座：口座番号「00990-4-305218」加入者名「大悲の会」

大悲ホームページ <http://daihi.org/>

大悲の会

長田 譲(会長)

隅谷俊紀(副会長)

寿栄松正顕(会計)

玉出宗順(会計)

門川崇志(監事)

佐々木太一

葦名 彰